

改善計画書

施設名

いなべひまわり保育園

(担当者

近藤直樹

)

(作成年月日

令和7年7月15日

作成)

改 善 事 項 等									施設コメント
やり つづ ける こ と (優 れ て い る 点 を 特 に 示 す)	1	オーガニック給食							
	2	無農薬野菜の栽培・収穫							
	3	自然・泥んこ遊び中心の保育							
	4	○子ども一人一人の成長を大切にする保育（月案の反省会での各園児の関わり方針のPDSサイクル） ○成長発達（段階）を大切にする保育（脳・心・身体の発達段階/専門職としての知識と経験）							
	5	地域との関わりの仕組みづくり ①地域の経験者を活かした取り組み	地元のピアノの先生に来て頂いてリズム遊びの演奏をしてもらっている。引き続き行っていきたい						
		課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	改善スケジュール（人・予算・情報・手順等）	担当	
す べ た い に し て い く こ と	1	理念・基本方針が確立・衆知されていない	理念を入口や事務所・クラスに掲げる	通年	2025年10月	2025年10月	①（会議にて職員に衆知） リーダー会議⇒園内研修⇒職員会議⇒実施 ②（理事長に清書をしてもらい各クラスに掲示）	近藤直樹（理事）	
	2	経営課題の明確化と具体的な取り組み（福祉人材の確保・育成）①	「SNS等情報発信により保育士を採用」 月4回以上の定期更新を行い、保育への考え方 や理念、園の魅力を広く発信する	通年	2025年8月	2026年3月	人：広報担当1名 情報：保育への想い・園内行事・日常の様子 手順：スケジュール作成⇒運用	近藤直樹（理事）	
	3	経営課題の明確化と具体的な取り組み（福祉人材の確保・育成）②	「採用理念や方針を作成し採用に励む」 採用活動の軸を明確化し、ミスマッチを減ら す	4ヶ月	2025年8月	2026年3月	人：園長 予算：採用媒体費 手順：理念策定⇒採用ページ反映	近藤直樹（理事）	
	4	利用者本位の福祉サービスの実施 卒園後の連絡先（転園先の保育所の連絡先）をアルバム配布時に書面として渡す	卒園児の引継ぎの際、卒園後の連絡先などの 文書配布を行う	1ヵ月	2026年3月	2026年3月	資料を準備し、各保育園に回る際に各園の担当者に渡す	若林則子（主任）	
	5								
工 夫 す べ た い に し て い く こ と	1	『管理者の責任の明確化』 （業務分掌の掲示や自らの役割と責任について、園の広報誌に掲載するなど周知を図る）	園長含めそれぞれの役割と責任を明確にし、 面談で評価やフィードバックを行う	通年	2025年8月	2026年3月	①それぞれの役割・責任明確化（素案・叩き台作成） ②素案を管理職・コンサル業者と検討 ③業務分掌・辞令交付書に落とし込む ④面談で役割を伝えらると共にフィードバックを受ける	近藤直樹（理事）	
	2	『福祉人材の確保・育成』 「職員の質の向上に向けた体制の確立」 職員一人一人の育成に向けた取り組み”	「期待する職員像」を明確化し、面談を実 施。一人一人の目標管理を行う	通年	2025年8月	2026年3月	①期待する職員像素案作成（中野理事・直樹理事・コンサル業者） ②面談の実施⇒フィードバック ③フィードバックを受け、振り返り、反映	近藤直樹（理事）・中野莉奈（理事）	
	3	『福祉人材の確保・育成』 「職員の質の向上に向けた体制の確立」 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定さ れ、教育・研修が実施されている”	「期待する職員像」を明確化し、人事考課制 度を策定し、目標項目や目標水準、目標期限 及び目標への進捗や達成度合いの確認を行え る仕組みを作り、実践する。（一人一人の目標 管理の為の仕組みを構築する）	通年	2025年8月	2026年3月	①期待する職員像作成 ②人事考課策定（リーダー・近藤直樹） ③目標管理の仕組み策定（近藤直樹・中野理事・コンサル業者） ④人事考課制度実施（面談による評価と賞与）	近藤直樹（理事）・中野 莉奈（理事）・石塚真以 （リーダー）	
	4	『福祉人材の確保・育成』 「職員の質の向上に向けた体制の確立」 職員の教育・研修に関する基本方針がや計画が策定 され、教育・研修が実施されている”	①研修に関する基本方針を定める ②その中に期待する職員像を明示。 ③専門技術や専門資格を明記し、定期的な見 直しを行う。	通年	2025年8月	2026年3月	①研修の基本方針を定める（近藤直樹・中野理事・コンサル） ②その中に期待する職員像を策定 ③専門技術や専門資格を明記し、PDFサイクルを回す	近藤直樹（理事）・中野莉奈（理事）	
	5	『地域との交流・地域貢献』 「地域の福祉向上の為の取組を行っている」 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行 われている”	「地域との関わりの仕組みづくり」 子どもに限らず高齢者等の地域における福祉 ニーズや生活課題を把握し、何かしら取り組 みを行う	通年	2025年8月	2026年3月	①自治会に顔を出し、会話をする中でニーズを探る ②区長さんや、農園の近隣の人からニーズを探る ③評議員の眞茂さん、監事の義明先生等からニーズを探る ④得た情報から取り組むことを絞り、計画を立てる ⑤計画を実践する。	近藤直樹（理事）	
予 算 化 し な い と で き な い こ と	1	3．4．5歳児受入に向けて環境を整える	保育単価と人件費等の収支バランスを軸に調 査・分析を行い、予算を立て、採用や導入の 仕方などの見直しを立てる	通年	2025年8月	2026年3月	①保育単価と人件費の収支バランスを計算する ②どうなれば、受け入れができるかを想定し、行政と打ち合わせ ③市の保育ニーズに応える （2歳児⇒1歳児⇒0歳児⇒3歳以上）	近藤直樹（理事）	
	2	事業経営を取り巻く環境や経営状況在中・長期的な視点で把握・分析を行う	専門業者に相談し、やり方を確認しながら、 策定を行う	通年	2025年8月	2026年3月	①コンサル業者に何をどう調べたらよいか相談 ②必要な情報の収集分析を行い、3年、5年、7年、10年の計画を立てる	近藤直樹（理事）	
	3								
	4								
	5								